

平成17年度 定期作況報告

(10月20日現在)

北海道立中央農業試験場

水稻の部

水田農業科 (岩見沢市)

気象概況

9月下旬：平均気温は平年より0.1 低く、降水量は平年比72%、日照時間は平年比122%であり、少雨、多照に経過した。

10月上旬：平均気温は平年より0.5 高く、降水量は平年比85%、日照時間は平年比120%であり、少雨、多照に経過した。

10月中旬：平均気温は平年より1.6 高く、降水量は平年比75%、日照時間は平年比153%であり、高温、少雨、多照に経過した。

以上、1ヶ月を通じ気温は平年より0.6 高く、降水量は平年比78%、日照時間は平年比131%であり、少雨、多照に経過した。

9月下旬～10月中旬気象表

項目	9月下旬			10月上旬			10月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(°C)	19.9	19.7	0.2	17.6	17.1	0.5	17.5	15.6	1.9	18.3	17.5	0.8
最低気温(°C)	9.9	10.4	0.5	8.4	8.2	0.2	7.6	6.3	1.3	8.7	8.3	0.4
平均気温(°C)	14.9	15.0	0.1	13.0	12.6	0.4	12.5	10.9	1.6	13.5	12.9	0.6
降水量(mm)	35.0	48.3	13.3	41.0	48.3	7.3	24.0	32.0	8.0	100.0	128.6	28.6
日照時間(hr)	64.2	52.8	11.4	53.8	44.8	9.0	70.2	46.0	24.2	188.2	143.6	44.6

注) データは「アメダス岩見沢」を使用。平年値は平成7年～16年10ヶ月平均値を農試が算出し使用。

最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

作 況

水稻 作況：良

事由：「きらら397」「ほしのゆめ」とともに一穂粒数は平年より少なかったものの、穂数が平年より多かったため、 m^2 当たり粒数は平年より多かった。登熟歩合は両品種ともに平年をやや下回った。精粒重は、「きらら397」で平年比118%、「ほしのゆめ」で119%であった。千粒重は「きらら397」で平年を上回った。屑米重は平年を上回ったが、精玄米重は「きらら397」で平年比113%、「ほしのゆめ」で119%と平年を大幅に上回った。

以上により、現在の作況は良である。

品種名	栽培方法	一穂粒数(粒)			m^2 当粒数(百粒)			稔実歩合(%)			登熟歩合(%)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397	中苗紙筒	41.8	51.1	9.3	361	312	49	88.8	86.6	2.2	77.1	79.5	2.4
ほしのゆめ	中苗紙筒	43.0	47.0	4.0	351	304	47	91.6	89.6	2.0	79.3	81.6	2.3
ななつぼし	成苗ポット	50.7	-	-	359	-	-	94.0	-	-	83.2	-	-

品種名	栽培方法	精粒重(kg/a)			精玄米重(kg/a)			屑米重(kg/a)			千粒重(g)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397	中苗紙筒	80.9	68.6	12.3	60.6	53.6	7.0	6.8	3.0	3.8	23.6	23.0	0.6
ほしのゆめ	中苗紙筒	79.9	67.4	12.5	60.2	50.6	9.6	7.1	5.0	2.1	22.0	22.1	0.1
ななつぼし	成苗ポット	73.1	-	-	57.3	-	-	3.6	-	-	22.0	-	-

注1 平年値は前7ヶ年中、平成16年(最豊)、15年(最凶)を除く5ヶ年平均

注2 本年より従来の奨励品種決定調査圃場(グライ土)から系統養成圃場(グライ土)に移動した。

注3 耕種概要

土 壤 細粒グライ土

施 肥 高度化成472全層施肥 N - P_2O_5 - K_2O =8.0-9.7-6.9 kg/10a 堆肥1,500kg/10a

播 種 量 中苗紙筒=180cc/箱 成苗ポット=35g/箱 移植方法 手植え

栽 植 密 度 30×13.3cm 25株/ m^2 4本植え 反 復 :2

注4 篩目は1.9mmを使用した。また精玄米重、屑米重および千粒重は15%水分換算値である。

畑作の部

畑作科 (長沼町)

気象概況

9月下旬：気温は平年並みであった。降水量は少なく、日照時間はやや多かった。

10月上旬：気温は平年よりやや高かった。降水量、日照時間はほぼ平年並であった。

10月中旬：気温は平年より高く、降水量はやや少なかった。日照時間はやや多かった。

以上、1ヶ月を通じてみると、気温はやや高く推移し、降水量は少なく、日照時間は多かった。

9月下旬～10月中旬気象表

項目	9月下旬			10月上旬			10月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 ()	15.1	15.0	0.1	13.4	12.8	0.6	12.9	11.1	1.8	13.8	13.0	0.8
最高気温 ()	20.3	19.9	0.4	17.9	17.5	0.4	17.6	15.9	1.7	18.6	17.8	0.8
最低気温 ()	10.0	10.1	0.1	8.3	8.1	0.2	7.5	6.0	1.5	8.6	8.1	0.5
降水量 (mm)	14.0	46.1	32.1	34.5	40.0	5.5	15.0	29.7	14.7	63.5	115.8	52.3
降水日数 (日)	4.0	4.2	0.2	5.0	4.1	0.9	2.0	3.7	1.7	11.0	12.0	1.0
日照時間 (hr)	63.7	49.5	14.2	49.7	42.6	7.1	71.0	46.3	24.7	184.4	138.4	46.0

注1) データは「アメダス長沼」を使用。平年値は平成7年～16年の確定値を10年間農試で平均し、本年値は平成17年の速報値を用いた。

注2) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

作況

1. 秋まき小麦(平成17年播種) 作況：やや良

事由：出芽期は1日遅れの9月21日であった。出芽後の気温は平年並～やや高く経過したため、草丈及び茎数は平年を上回った。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名	播種期(月.日)			出芽期(月.日)			草丈(cm)			茎数(本/m ²)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ホクシン	9.15	9.13	2	9.21	9.20	1	28.5	23.0	5.5	1124	980	144
ホロシリコムギ	9.15	9.13	2	9.21	9.20	1	27.0	23.0	4.0	1049	906	143

注)平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均(各収穫年度)。

2. 大豆 作況：不良

事由：中生の「ツルムスメ」は、成熟期は平年に比べ1日遅く、着莢数は平年比109%と多かったものの、一莢内粒数は平年比85%とかなり少なく、登熟期間が高温であったため、百粒重も平年比95%と小さかった。このため、子実重は平年比93%の332kg/10aとなった。

晩生の「ユウヅル」は、成熟期は平年に比べ6日早く、着莢数は平年比88%とかなり少なかった。一莢内粒数は平年比95%とやや少なく、百粒重は平年比84%とかなり小さかった。このため、子実重は平年比84%の309kg/10aとなった。

以上により、現在の作況は不良である。

品種名	成熟期(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ツルムスメ	9.29	9.28	1	52.9	55.7	2.8	11.6	12.4	0.8
ユウヅル	10.09	10.15	6	86.4	79.9	6.5	15.4	15.7	0.3
トムスメ(参考)	9.22	9.28	6	60.4	61.1	0.7	10.1	10.2	0.1
スズマル(参考)	9.24	10.03	9	59.9	75.5	15.6	12.8	14.3	1.5

品種名	分枝数(本/株)			着莢数(莢/株)			一莢内粒数(粒)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ツルムスメ	7.0	5.8	1.2	56.7	52.1	4.6	1.60	1.89	0.29
ユウヅル	2.6	4.4	1.8	51.7	58.5	6.8	1.79	1.88	0.09
トムスメ(参考)	6.9	6.2	0.7	72.1	67.2	4.9	1.79	1.80	0.01
スズマル(参考)	9.9	9.3	0.6	114.6	120.9	6.3	2.55	2.32	0.23

品種名	子実重(kg/10a)				百粒重(g)		
	本年	平年	比較	平年対比(%)	本年	平年	比較
ツルムスメ	332	356	24	93	44.5	46.7	2.2
ユウヅル	309	368	59	84	43.1	44.4	1.3
トムスメ(参考)	363	398	35	91	36.9	39.5	2.6
スズマル(参考)	307	331	24	93	13.7	14.8	1.1

注)平年値は前7か年中、平成14年(最凶)、16年(最豊)を除く5か年平均。

ただし、トムスメ スズマルは、前4か年の平均を平年とし参考値を示す。

3. 小豆 作況：平年並

事由：莢数は平年より多かったが、一莢内粒数は少なく、百粒重は平年並みであった。その結果子実重は平年比101%と平年並であった。屑粒率は平年より低かった。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名	成熟期(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節)			分枝数(本/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
エリテシヨウズ	9.05	9.08	3	66	56	10	14.2	12.0	2.2	3.7	3.5	0.2

品種名	着莢数(莢/株)			一莢内粒数(粒)			子実重(kg/10a)			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比(%)
エリテシヨウズ	51.2	46.7	4.5	5.60	6.57	0.97	294	291	3	101

品種名	百粒重(g)			屑粒率(%)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
エリテシヨウズ	12.5	12.6	0.1	1.6	7.0	5.4

注)平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均。

4. てんさい 作況：平年並

事由：8月上旬から収穫まで高温、やや多雨で経過したため、糖分蓄積が緩慢に進んだ。収穫期は10月11日で平年より2日早かった。このため、根重は8.92t/10aで平年比109%と平年を上回ったが、根中糖分は14.37%で平年比93%と著しく低かった。この結果、糖量では1,279kg/10aで平年並みであった。

以上により、本年の作況は平年並である。

栽培法	品種名	草丈(cm)			葉数(枚)			根周(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
移植	モノホマレ	68.2	62.0	6.2	35.8	31.3	4.5	34.6	36.1	1.5

栽培法	品種名	収穫期(月日)			茎葉重(t/10a)			根重(t/10a)			
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年対比(%)
移植	モノホマレ	10.11	10.13	2	8.31	4.81	3.50	8.92	8.18	0.74	109

栽培法	品種名	根中糖分(%)				糖量(kg/10a)			
		本年	平年	比較	平年対比(%)	本年	平年	比較	平年対比(%)
移植	モノホマレ	14.37	15.51	1.14	93	1,279	1,272	7	101

注)平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、16年(最豊)を除く5か年平均。

5. 中央農試作況報告について

平成13年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。

当報告は、中央農業試験場のほ場において行った生育調査について、調査時点における値を中央農業試験場の平年値と比較したものであり、当該管内の作況を代表するものではありません。